



芽室町コミュニティ・スクール（CS）通信

～みんなで創り みんなでつなぐ ずっと輝くまち めむろ～

令和元年 6月10日

かなえよう

No.5

芽室町教育委員会

1 CSの鍵は、学校と実社会が、そして教育活動と地域が結びついているか否か？

～キャリア教育をベースに進めたい！キャリアの語源は、ラテン語の“轍”（わだち）～



「郷育・夢育」をキーワードとしたコミュニティ・スクール（CS）の推進に向け、各校の取組や関係の皆様の共通理解が進んでいますが、その鍵を握るのがキャリア教育の推進であると考えます。なぜなら、キャリア教育は、子どもたちが将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育むための教育であるからです。つまり、キャリア教育とは「学ぶこと」と「将来の夢」「自分らしい生き方」「働くこと」とをつなげる教育と言えます。

キャリアの語源は、ラテン語の“轍”（わだち）です。文部科学省の長田徹調査官は、「子供たちの学びの“轍”は、学校、家庭、地域（企業を含む）、行政が社会総ぐるみになって創るもの」と語っています。子供たちの学びが将来にどうつながるのか？主体的にどんな轍を創っていくのか？などの観点を大事にしたいものです。



また、キャリア教育は、新たに始めるのではなく、これまでの学校の教育活動をキャリア教育のフィルターを通して見取り、それを地域との連携・協働に生かすことにより、バージョンアップしていくことが大切であり、そのことがCSの推進にもつながることでしょう。以下のキャリア教育の視点をCS等の参考にいただければ幸いです。

<各教科等におけるキャリア教育の視点>子供の学びを「支え・つなぎ・活かす」

- ①「学習の内容」～教科等で学ぶ内容が、実際に活用される場面を伝える。
- ②「指導の手法」～教科等で培われる能力を社会で必要とされる能力と絡めて伝える。
例えば、社会で必須といえる人前で自分の考えを表現する力を身に付けること。
- ③「学習のルール」～時間を守る、挨拶・返事、身だしなみなど、社会で必要とされる態度を身に付ける。

★上記の視点をもとに、好奇心や意欲をかき立てられ、達成感や充実感を味わえる感動体験及び、自分を成長させる必要性を実感する成功体験や失敗体験などを重視したい。

2 あなたは、どんな教育をしているか？したいか？（「教育・共育・郷育」以外）

先月の芽室町学校運営協議会合同会議の折に、各委員に上記質問をしたところ、次のような回答がありました。「協育」「響育」「興育」「鏡育」「今日育」です。さすがに「強育」「恐育」はありませんでした。今後の各学校運営協議会での熟議のテーマ及び、連携・協働のためのヒントになると感じました。

<学校運営協議会の大事な視点のおさらい>

学校運営に関する協議だけではなく、学校運営に必要な支援、連携・協働について協議することであり、そのため、学校運営協議会の委員には、協議はもとより、支援活動（地域学校協働活動等）にも参加していただくことが重要になってきます。

3 CSを通して、子供たちに「めむろ一ど」を歩ませたい！

- め：明確な町政ビジョンにより、町民の幸せと安心・安全を保障する豊かな町
 - む：夢中になって働くことができる、働きがいのある町
 - ろ：自分の歩む道（ろ一ど）が確かに見える町
- ☆まさに「めむろ一ど」！そんな町を創り、そんな子供を育む町に！

